

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和5年3月31日

事業所名 塚本駅前こにこツリーハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢に応じてエリア分けをしております	年齢の幅が大きくなってしまった場合、発達に応じたスペースを適切に作れるように改善していきます
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準を遵守することをベースとし、職員に対しても面談を行っております	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		システムや視覚支援を取り入れ、わかりやすい仕組みになっております	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		使用した玩具は毎日消毒し、清潔に保てるようにしております	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員に関しては週に1度、自分が立てた課題を見直し、振り返りを行っております	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いた貴重な意見をもとに改善していきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今年度から指定をとった為、次回以降は2月までに公表していきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在の所予定はないが、必要があれば積極的に取り入れていきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内での研修等で、スキル向上できるように努めております	より多くの研修に参加できるように機会を作っていきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者や児童のニーズを聞き出し、職員で分析し個別支援計画書の作成を行っております	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		専用のアセスメントツールを使用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童のニーズに合わせて優先順位を決めて支援しております	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		職員間で週1回進捗状況を確認し、支援のずれがないか確認しております	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童に合わせて、立案し実行しております	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		前月の会議で翌月のプログラムを決定し取り組んでおります	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童の発達に応じて、個別と集団のウエイトを適宜変更し対応しております	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前に会議を開催し、担当に振り分けを行い、職員間で共有できるようにしております	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間でその日の提供内容の振り返りを行い、気付きや次に繋げていきたいところを共有しております	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		提供後は、児童の様子等必ず記録している。フィードバックを通して次に繋げております	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い共有しております	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じ、担当者が参加しております	会議後の情報共有方法について職員間できちんと共有できるように別途事業所内で会議を設け、全員がニーズ把握できるように進めていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と密に連携しております	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		実際に訪問へ行き、児童の発達面について、情報交換・相互理解を図っており、気付き等も支援に反映しております	新規入所児童に関しては、細かく引き継ぎを行なっていきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		先方に積極的にアプローチをし、連携していけるように努めていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		運営方法など助言を受け、適宜取り入れ実施しております	職員全員が研修にいけるよう検討していきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		定期的に保育園との交流を実施しております	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		先方に積極的にアプローチをし、連携していけるように努めていきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お迎えの際に、日々の様子を細かく伝えている。また、現状の発達についてもヒアリングし共有しております	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		児童への対応について保護者と共有し、助言しております	複数の事業所を利用している場合、一貫した支援ができるよう事業所同士連携していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		説明時には、お時間をいただき、質疑応答の時間も設けております	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ヒアリングをもとに立てた個別支援計画書にずれがないか職員間で共有した後、保護者に説明し最終同意を得ております	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		お迎えの際に助言・支援を行っている。必要があれば、懇談の場を設けております	より良い支援を行えるよう、職員の傾聴スキル向上の為の研修も検討中です
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士の交流の場を設け、支援しております	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		申し入れがあった場合には、迅速に対応し、その後職員間でも共有しております	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		空月の活動予定や、活動の概要の発信を行っている。また、SNSやHPでも発信もしております	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の取り扱いについて定期的に注意喚起するとともに、データや写真の取り扱いのルールを定めております	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		写真、文字やジェスチャー、絵カードなどを使用しております	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討予定です
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		月に2回ほど実施。その後考察を行い、改善点があれば次に繋げていきます	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		上記に同じです	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入所前に必要な対応を保護者に確認し、職員間で共有しております	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーありの児童に関しては、医師の診断書を提示いただき、連携して対応しております	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定期的に社内でも共有し、安全に療育提供できるように進めております	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止についての理解を深められるように研修しております	外部講師に研修していただける機会を検討中です
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		十分に説明しております。また、今後該当する場合、個別支援計画書にも漏れがないように記載していきます	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。